

## 凡 例

1. この年鑑は、東京都の人口、経済、社会および文化などの全分野にわたり、重要かつ基本的な統計資料を総合的に集録したものである。なお、統計表には他の地域と区別する必要のない限り、東京都という名称を省いてある。
2. この年鑑は、原則として昭和34年を集録し、他の年のものは、比較対照のため掲げてある。
3. 統計表は、特に頭注等にとわりのない限り、歴年間（1月から12月）何年度とあるのは会計年度間（4月から翌年3月まで）の事実を示し、何年末、何月末あるいは何年何月何日とあるのは、その期日現在の事実を示す。
4. 統計表の一般的説明は頭注とし、表中説明を要する個々の事項は原則として脚注にした。また資料出所は脚注の一部として掲げた。ただし脚注に資料作成機関の付してない統計表は、すべて都総務局統計部において作成したものである。
5. この年鑑につけてある英文は、都総務局統計部において翻訳したものである。
6. 統計表中の符号の用法は、次のとおりである。
  - ……………皆無、または該当数字なし。
  - … ……………資料なし。
  - 0 ……………0.5 未満
7. 数字の単位未満は、4捨5入することを原則とした。したがって、合計の数字と内訳の計とが一致しない場合もある。
8. 付録として、度量衡換算表を掲載し、計算その他の利用に便ならしめてある。また東京都の地図および沿革を付して、地域範囲を明らかにし、統計表の理解上いささかなりとも資するよう努めた。
9. この年鑑に集録した統計資料について、さらに詳細な数字が必要な場合、あるいは疑義のある場合には、各表ごとに付してある資料作成機関、または都総務局統計部集査課資料係に照会されたい。